

令和3年度
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)
成果報告書

団 体 名	一般財団法人長野市文化芸術振興財団	
施 設 名	長野市芸術館	
助 成 対 象 活 動 名	公演事業・人材養成事業・普及啓発事業	
内 定 額 (総 額)	30,757	(千円)
	公 演 事 業	6,958 (千円)
	人 材 養 成 事 業	3,787 (千円)
	普 及 啓 発 事 業	20,012 (千円)

(1) 令和3年度実施事業一覧【公演事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	復興NAGANO音楽祭	令和3年11月21日	出演：南こうせつ、坂本冬美、平原綾香	目標値	1,100
		メインホール		実績値	1,176
2	黒木岩寿プロデュース 「ガンツァ・ウィーク」	令和4年3月6日	出演：ラ・ストラヴァガンツァ東京、 三浦一馬 ほか	目標値	500
		メインホール		実績値	509
3	リヴァラン弦楽四重奏団 #2※	令和4年2月26日	出演：近藤薫、川久保賜紀、佐々木亮 ※予定していた出演者1名について、 入国制限により来日ができなかったことから 出演を見送った。	目標値	226
		リサイタルホール		実績値	134

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(2) 令和3年度実施事業一覧【人材養成事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	
1	須川展也プロデュース 長野市芸術館ブラス・フ ェスティバル vol.3	令和4年3月27日※ 令和3年11月27日	※新型コロナウイルス感染症の影響 により中止 出演：トルヴェール・クワルテット (須川展也、彦坂真一郎、神保佳祐、 田中靖人)、小柳美奈子	スーパ ー・ウイ ンド・オ ーケスト ラ来場 者：350 名・高校 生参加 者：70 名・社会 人参加 者：40名 ／トルヴ ェール・ クワルテ ット来場 者：118 名・クリ ニック： 15名	

		メインホール リサイタルホール		実績値	スーパー・ウィンド・オーケストラ来場者：中止・高校生参加予定者：11校90名・社会人参加者：72名／トルヴェール・クワルテット来場者：250名・クリニック：27名
2	長野市芸術館ジュニア合唱団（第3回定期演奏会）	令和3年12月19日※ リサイタルホール	※令和3年4月より、「長野市芸術館ジュニア合唱団事務局」を立ち上げたため対象外ではあるが、以下のとおり実施された 指揮：片山みゆき 副指揮：松尾明日香 指導アシスタント：伊藤雅美、佐野秀和 ピアノ：瀧澤典江、原瑞穂、宮下静香 団員：55名	目標値 実績値	団員70名/コンサート来場者数650名（無料含む） 団員55名/コンサート来場者数203名

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(3) 令和3年度実施事業一覧【普及啓発事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	長野市芸術館開館5周年 フェスティバル	令和3年5月6日~9 日※	出演:西村まさ彦、加藤昌則、上條頌、 沢知恵、StarLights ほか ※新型コロナウイルス感染症の影響 により客席半数制限の上、一部事業 中止	目標値	公演来場 者数: 1,728名 参加者 数:220 名
		メインホールほか		実績値	公演来場 者数: 835名 参加者 数:107 名
2	Everly クリスマス・コン サート 2021	令和3年12月12日	出演:Everly	目標値	1,199名 アウトリ ーチ: 5,000名 (小学 校・幼稚 園)
		メインホール		実績値	1,167名 アウトリ ーチ: 4,124名 (小学 校・幼稚 園)
3	加藤昌則の超ぶっとび! クラシック/室内楽コンサ ート	令和3年9月29日~ 令和4年1月19日/ 令和4年1月29日	出演:加藤昌則/ 加藤昌則、成田達輝、上野由恵	目標値	講座 198名×5 回=延べ 990名 コンサ ート 283 名

		リサイタルホール		実績値	講座 延べ 845 名 コンサート 150 名
4	長野市芸術館凱旋コンサートシリーズ Vol. 4, 5	令和 3 年 8 月 29 日 令和 3 年 10 月 2 日	出演: 山本貴志、近藤薫、田原綾子、遠藤真理 (客席半数制限) 出演: 久保亮太、松橋朋潤、梨本卓幹	目標値	Vol. 4 254 名 Vol. 5 176 名
		リサイタルホール アクトスペース		実績値	Vol. 4 139 名 Vol. 5 248 名
5	水曜ひるまのクラシック・リサイタルシリーズ	令和 3 年 4 月 21 日～ 12 月 8 日	出演: 大萩康司、亀井良信、鈴木慎嵩、福士マリ子、永原緑、遠藤真理、加藤昌則、木嶋真優、江崎昌子、松本和将、三宅理恵、石野真穂、藤原道山、KEIKO	目標値	273 名*8 公演=延べ 2,184 名
		リサイタルホール		実績値	8 公演延べ 2,010 人
6	金曜よるのクラシック・リサイタル・シリーズ	令和 3 年 11 月 5 日～ 令和 4 年 1 月 14 日	出演: 高木綾子、幸田浩子、三浦一馬、加藤昌則	目標値	226 名*3 公演=延べ 678 名
		リサイタルホール		実績値	3 公演延べ 597 人
7	宮川彬良 プロデュース ファミリーで楽しむオーケストラ・パントマイム	令和 3 年 10 月 10 日	出演: 宮川彬良、宮川安利、吉岡朋子、群馬交響楽団、宮川知子	目標値	700 名 キッズ STAFF : 10 名
		メインホール		実績値	557 名 キッズ STAFF : 6 名

8	上條頌プロデュース公演 『Live in Nagano』『The Music Place Vol.2』(クリニック含む)	令和3年7月10日	出演:上條頌、後藤克臣、石田まり、PENNY-K、坂東慧、OLIVIA BURRELL、K	目標値	公演来場者:964名 クリニック参加者:20名
		アクトスペース	※『The Music Place Vol.2』については、予定していた出演者が入国制限により来日できなかったことから中止した。	実績値	公演来場者:83名 講座参加者:65名
9	西村まさ彦プロジェクト シニア演劇アカデミー	令和4年1月23日	監修:西村まさ彦 講師・演出:関口静夫、岡部涼音 脚本:山本陽将	目標値	公演来場者:200人*2公演=400人 アカデミー参加者:40人
		アクトスペース		実績値	公演来場者:2公演延べ319人 アカデミー参加者:40人
10	お届け芸術館	令和3年6月~令和4年3月	出演:田中美恵子、渡辺幸絵、竹内遥香、汐入規予、宮下静香、清水範子、たかがわいづみ、藤澤聡子、西田文子	目標値	1,700人
		市内10箇所		実績値	491人
11	長野市芸術館オープンハウス	令和3年11月14日 令和4年2月19日~20日	出演:練習室を利用する市民団体	目標値	出演:20団体/来場:300名
		リサイタルホール アクトスペース		実績値	出演:19団体/来場:305名

12	ランチタイム・ピアノ・コンサート	令和6年6月～令和4年3月	出演：奥村美佳、梨本卓幹、大森晶子、須田桃香、山岸香織、深沢雅美、神林杏子	目標値	300人*6 公演＝ 1,800人
		メインホール		実績値	1,796人

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

2. 自己評価

(1) 妥当性

自己評価

社会的役割等（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。

■ 4つの役割=キーコンセプト…『育む』『楽しむ』『創る』『つなぐ』

市の運営管理実施計画に示された新しい4つの役割をキーコンセプトにし、アーティストとの協働による多彩な文化芸術の創造機会の創出と、少子高齢化の進む社会の活力を取り戻す一助として子どもの芸術体験や地域の文化芸術活動の支援をより一層充実することで、子どもから大人まで地域に居住する様々な人々が文化芸術活動を通して出会い、夢や価値観を共有し、豊かな心と感性を育むことで、個人の生活に潤いをもたらし、人々の絆を強めることで地域社会全体の発展に貢献することを目指し、それぞれ下表のとおり事業を実施した。

キーコンセプト	育む	楽しむ	創る	つなぐ
助成事業数	19	22	6	0

■ 「ながの文化ビックバンプロジェクト」

当館の建設時に設置者である長野市が策定した中長期構想「ながの文化ビックバンプロジェクト」では、第2期指定管理（第2ステージ）の取組を「文化芸術を通じた活動の進化と深化」とし、市民の自主的な文化活動の機会の創出や、市民参加事業の実施を謳っている。当館はこれを基に「ともに成長」の目標を掲げ、徹底した市民参加型事業の実施や、市民自らが「長野らしさ」を見出すことができるよう、アーティストとともに長野市芸術館オリジナル公演を企画・実施した。

■ 事業の中止・対象外

新型コロナウイルスの学校等での感染拡大により、高校生を対象とした事業（人材養成事業1：須川展也プロデュース 長野市芸術館プラス・フェスティバル vol.3）は、定員を超える応募があったものの一部事業を中止した。

人材養成事業2：長野市芸術館ジュニア合唱団は、令和3年度から組織体制を見直し別に事務局を立ち上げたため、助成対象外となった。

助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。

■ 文化的意義

公演事業2：黒木岩寿プロデュース「ガンツァ・ウィーク」では、めったに演奏されることのない、ピアソラ幻の最高傑作であるタンゴ・オペリータ『ブエノスアイレスマリア』を上演、来場した長野市民からは「初めての演奏形式で感動した」といった声も多く、長野市における文化力の向上に大きな役割を果たした。

■ 社会的意義

上記記載の市民参加型事業の充実により、長野市民が自らステージに立つことで、継続的に市民が自ら文化芸術活動を行う環境を整えた。

市民参加型事業参加者（計）	252人
---------------	------

■ 経済的意義

3年度事業の大きな柱の一つとして、令和元年東日本台風災害被災地の復興支援がある。公演事業1：復興 NAGANO 音楽祭がその中心事業として、被災地区住民200名を無料招待した他、行政と協力し、ロビーで復興支援品を販売するなど、文化芸術を通じた支援を実施した。

(2) 有効性

自己評価

目標を達成したか。

(1) 公演事業

指標	目標	実績	達成/未達
オリジナル公演における入場率	88%	80.5%	未達
オリジナル公演における新規来場差割合	22%	24.9%	達成
令和元年度東日本台風災害被災地からの来場者数 (事業番号1)	200人	200人(応募374人)	達成
長野市外からの来場者数(事業番号1)	200人	77人	未達

新型コロナウイルスの影響により、予定していた会場より大きなホールに変更したことや、県外者への積極的な営業ができなかったことなど影響があった。その中でも事業番号1「復興NAGANO音楽祭」では、長野市と協力し、被災地への広報周知を適切に行ったことにより、予定を上回る応募があったほか、一般販売分も完売するなど高い効果が見られた。

(2) 人材養成事業

指標	目標	実績	達成/未達
クリニック等参加者数	5回以上延べ90人	3回89人	未達
アンケート調査:将来文化芸術に携わりたい(関わりたい)か	50%	中止のため測定不可	-
アンケート調査:学校や学年、楽団を超えたつながりによる技術の向上や意識の変化	80%	中止のため測定不可	-

前述のとおり、新型コロナウイルスの影響により、一部事業を中止した。クリニックについても実施回数は目標に届いてはいないが、参加人数については概ね達成しているといえる。予定していた楽器クリニックから内容を変更し、接触の少ない講義型の作曲講座を2回実施し、それぞれ30名以上の参加があった。

(3) 普及啓発事業

指標	目標	実績	達成/未達
市民参加型事業の市民参加人数	400人	282人	未達
鑑賞型普及事業における来場者数	4,662人	4,403人	未達
講座型事業における来場者数	1,200人	1,088人	未達
39歳以下の鑑賞者割合	38%	34%	未達
市所縁アーティストの公演に対する再来場意向	50%	74%	達成
アウトリーチ実施回数	60箇所6,500人	35箇所4,615人	未達

新型コロナウイルスの影響により、事業の内、一部内容を中止したのもの等もあり(事業番号1「開館5周年記念フェスティバル」の内、『カルミナ・ブラーナ』公演を中止した)、参加人数では目標を達成できなかったものの、鑑賞型及び講座型事業については概ね目標値に近い実績を得た。特に市所縁のアーティストの公演は、コロナ禍でも心配なく公演を鑑賞できるためか、例年を上回る来場があり、引き続き来場したい意向も高く、応援する機運の高まりを感じた。

(3) 効率性

自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。

公演事業、人材養成事業、普及啓発事業すべてにおいて、新型コロナウイルスの影響により中止した事業を除き当初の計画に沿って実施した。

普及啓発事業1「長野市芸術館開館5周年フェスティバル」は、開館日である5月8日に合わせて事業期間を設定した。通常このゴールデンウィーク期間は閑散期ではあるが、新型コロナウイルス禍において地元で敢えて子どもと一緒に楽しめる企画を実施した。感染拡大期であったため、当初予定していたプロモーション活動の実施はできなかったものの、ワークショップ等各種事業において親子の参加が多く、適切に事業を実施できたと考える。

人材養成事業1「須川展也プロデュース 長野市芸術館ブラス・フェスティバル vol.2」のメイン企画【スーパー・ウインド・オーケストラ】が2年連続の中止となった。この企画は北信地域の高校生を募集するものだが、2年ともに募集後、学校での感染拡大を理由に中止を決定した。事業期間の設定としては、学校の長期休みの期間であること・吹奏楽フェスティバルやコンクールの練習等と重複しないことが条件になっていることから、3月末に設定をせざるを得ない状況にある。状況にもよるが、地元高校生の育成事業として継続実施するべく、事業期間も含めた検討をしたい。

アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

新型コロナウイルスの影響により中止・変更した事業を除き、概ね計画通りに実行した。事業費の計画及び執行については、過剰にならないよう1事業ごと管理し、特に広告宣伝費に関しては、事業ごと適当な広報手段を検討し、精査した上で実行している。

(以下、新型コロナウイルスの影響により事業費が大きく変更となった事業)

番号	事業名	決算/要望	増減理由
公演事業			
3	リヴァラン弦楽四重奏団#2	42.86%	海外アーティストが出演できなかったことにより、特別編成での公演に変更したため。
人材養成事業			
1	須川展也プロデュース長野市芸術館ブラス・フェスティバル vol.3	33.57%	高校生参加事業について、学校での感染拡大により中止を決定したため
普及啓発事業			
13	上條頌プロデュース公演『Live in Nagano』『The Music Place Vol.2』(クリニック含む)	21.95%	海外アーティストが来日できなかったことにより、『The Music Place Vol.2』を中止したため。

(4) 創造性

自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

■プロデューサーによるオリジナル公演の継続開催

平成31年度から5年間の事業方針として「シーズンプログラム・プロデューサー」と「レジデント・プロデューサー」によるオリジナル公演を実施した。その内助成事業は以下のとおり。

公演事業2「黒木岩寿プロデュース「ガンツァ・ウィーク」

公演事業3「リヴァラン弦楽四重奏団#2」

人材養成事業1「須川展也プロデュース 長野市芸術館ブラス・フェスティバル vol.3」

普及啓発事業3「加藤昌則の超ぶっとび！クラシック/室内楽コンサート」

普及啓発事業7「宮川彬良プロデュース ファミリーで楽しむオーケストラ・パントマイム」

普及啓発事業8「上條頌プロデュース公演『Live in Nagano』『The Music Place Vol.2』

公演事業では、滅多に演奏されることのない、ピアソラ幻の最高傑作であるタンゴ・オペリータ『ブエノスアイレスのマリア』の上演や、ヴァイオリン2本とヴィオラのトリオという特別編成の公演など、音の響きの評価が高い劇場として、芸術性の高い公演を実施した。



普及啓発事業では、学習意欲の高い県民性もあり評価が高い講座型普及事業や、3世代で楽しめる鑑賞事業など、様々な文化芸術との関わり方を提案し、多くの市民が来場した。

■市役所と合築という特性

長野市芸術館は長野市役所と合築しており、1階ロビーを共有している。そのメリットとして、平日の日中に行う無料コンサートの集客に関して、偶然市役所を訪れた人にまでアプローチできる点がある。当館のミッションである「全ての世代の市民が良質な文化芸術に触れ、豊かな心を育む機会の創出」「市民が日常的に多様な文化芸術に出会う機会の創出」の達成のため、普段文化芸術に触れる機会のない市民にもアプローチが必要であると考え、普及啓発事業12「ランチタイム・ピアノ・コンサート」を実施した。新規来場者は約11%（アンケート調査に基づく）であり、アンケートからも「偶然聴いたら素晴らしかった」という声もあるなど、役割達成のための一助となった。

■新たな鑑賞スタイルの提案

主婦や高齢者層をメインターゲットとしたウィークデイ・マチネのコンサート「水曜ひるまのクラシック・リサイタルシリーズ」（普及啓発事業5）及び仕事終わりのサラリーマンなどを対象とした、アフター5のコンサート「金曜よるのクラシック・リサイタル・シリーズ」（普及啓発事業6）を継続して実施した。

「水曜ひるまのクラシック・リサイタルシリーズ」は、新型コロナウイルス感染防止のため、会場を大きいメインホールに変更し、間隔をとった上で開催した。これまで実施していたリサイタルホールならではの距離感や生音の響きが薄れ、「やはりリサイタルホールが良い」という声もあったものの、前年度中止した事業を安心感の中で実施できたことは大きい効果があった。



自己評価

地域の実演芸術等の振興など、地域の文化芸術の発展につながった（と認められる）か。

■市民参加型事業の充実

（１）妥当性に記載のとおり、指定管理第２期は市民参加型事業に注力しており、開館５周年を記念した事業についても市民参加型を軸に実施した。

- ・人材養成１「須川展也プロデュース 長野市芸術館ブラス・フェスティバル vol. 3」※一部中止
- ・普及啓発１「長野市芸術館開館５周年フェスティバル」
- ・普及啓発９「西村まさ彦プロジェクト シニア演劇アカデミー」

「長野市芸術館開館５周年フェスティバル」では、テーマに「ともに、つくろう」を掲げ、作曲・ダンス・演劇の各分野でトップアーティストと一緒に作品を創り上げる事業と展開し、初心者から経験者まで文化芸術に参加できる事業として以下の評価を受けた。



<アンケート抜粋>

作曲：「何もないところからもの（音）が生まれる楽しみを味わわせていただきありがとうございました。」

ダンス：ダンス教室に参加し、お客さんではなく出演者としてライブに来たので、とても新鮮で楽しかったです。ドラムやギターなどの演奏も最高でした！」

演劇：「初めて演劇を体験しました。声だけで演じることの難しさ楽しさを感じました。参加してよかったです。」

■出身演奏家のコンサートの開催

令和元年度より凱旋コンサートシリーズと称し（普及啓発４）、地元出身の演奏家が出演するコンサートを開催している。本事業を通して、アーティストと地域住民の新たな関係を創り出し、地元ファンを創出するとともにアーティストの更なる飛躍を支援することを目的としている。併せて、ランチタイム・ピアノ・コンサート（普及啓発１２）として、長野市近隣で活躍するピアニストによる無料コンサートを年６回開催している。

これら出身演奏家によるコンサートを充実させることは、地域への愛着を醸成するとともに、ファンの獲得により安定した鑑賞人口に繋がると考えている。その成果として、市出身アーティストの公演への再来場希望をアンケート調査した結果、前年度及び目標を大きく上回る結果を得られた。

アンケート調査	R2 実績	R3 目標	R3 実績
市所縁アーティストの公演に対する再来場意向	43%	50%	74%

<アンケート抜粋>

「地元ゆかりの若い音楽家を知る好機となりました。期待していた以上に素晴らしい演奏でした。」

「若手演奏家が大勢の聴衆の前で演奏できる本機会は貴重だと思います。この経験はコンクール、オーディションに生きるし、成長の糧になります。」

「とても素晴らしい演奏でした！！信州にこのようなすてきな３人の若手男性ピアニストの方がいらして本当にこれからが楽しみです。みな様ますますご活躍ください。」



(5) 持続性

自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展する（と認められる）か。

■人材面

これまで即戦力となる中途採用の雇用に重点を置いていたが、当館から文化芸術に携わる人材を育てるため、新卒者を含む若手職員の雇用に優先し、令和3年度は新卒2名を雇用した。内1名は前年度に当館へインターシップに来た学生であり、令和3年度においてもインターシップ生や中学生職場体験を受け入れたほか、地元の舞台会社の若手職員の研修会場として無償で貸し出すなど、新たな人材の育成に力を入れた、

インターシップ受入	3名
中学生職場体験受入	8名



また、普及啓発事業7「宮川彬良プロデュース ファミリーで楽しむオーケストラ・パントマイム」では、インターシップ生と同時に小学生らキッズスタッフを募集し、定員を上回る応募があり、当日は6名が参加した。これらの取組を通して鑑賞人口の増加だけではなく、文化芸術に携わる人材を発掘し、組織活動及び長野市の文化芸術の継続的な発展を図った。

←普及啓発事業7「宮川彬良プロデュース ファミリーで楽しむオーケストラ・パントマイム」インターシップ生及びキッズスタッフ（開場時お客様案内）

■財務面

事業実施に向けた自主財源として、年間協賛パートナーの募集を開館以降継続して実施しており、前述の災害等により減少傾向にあるものの、多くの企業から協賛をいただいております、いずれの年度も予算額を上回る実績があった。

（協賛金の推移）

年度	予算額	実績額	前年度比	協賛社数
平成31年度（令和元年度）	20,000千円	22,788千円	-	77社
令和2年度	15,500千円	20,130千円	▲2,658千円	73社
令和3年度	10,200千円	19,580千円	▲550千円	75社

上記に加え、公演事業1「復興NAGANO音楽祭」及び普及啓発事業6「金曜よるのクラシック・リサイタル・シリーズ」では、それぞれ地元の会社より事業協賛をいただいた。いずれも事業趣旨やクラシック音楽の普及に賛同いただいております、こういった関係性を各社と構築することで、地域一体で文化芸術を盛り上げる風土を醸成し、継続した事業運営に繋げる。



←ホワイエにて協賛者のブランドムービーを放映した。